




# 個別避難計画の捉え方



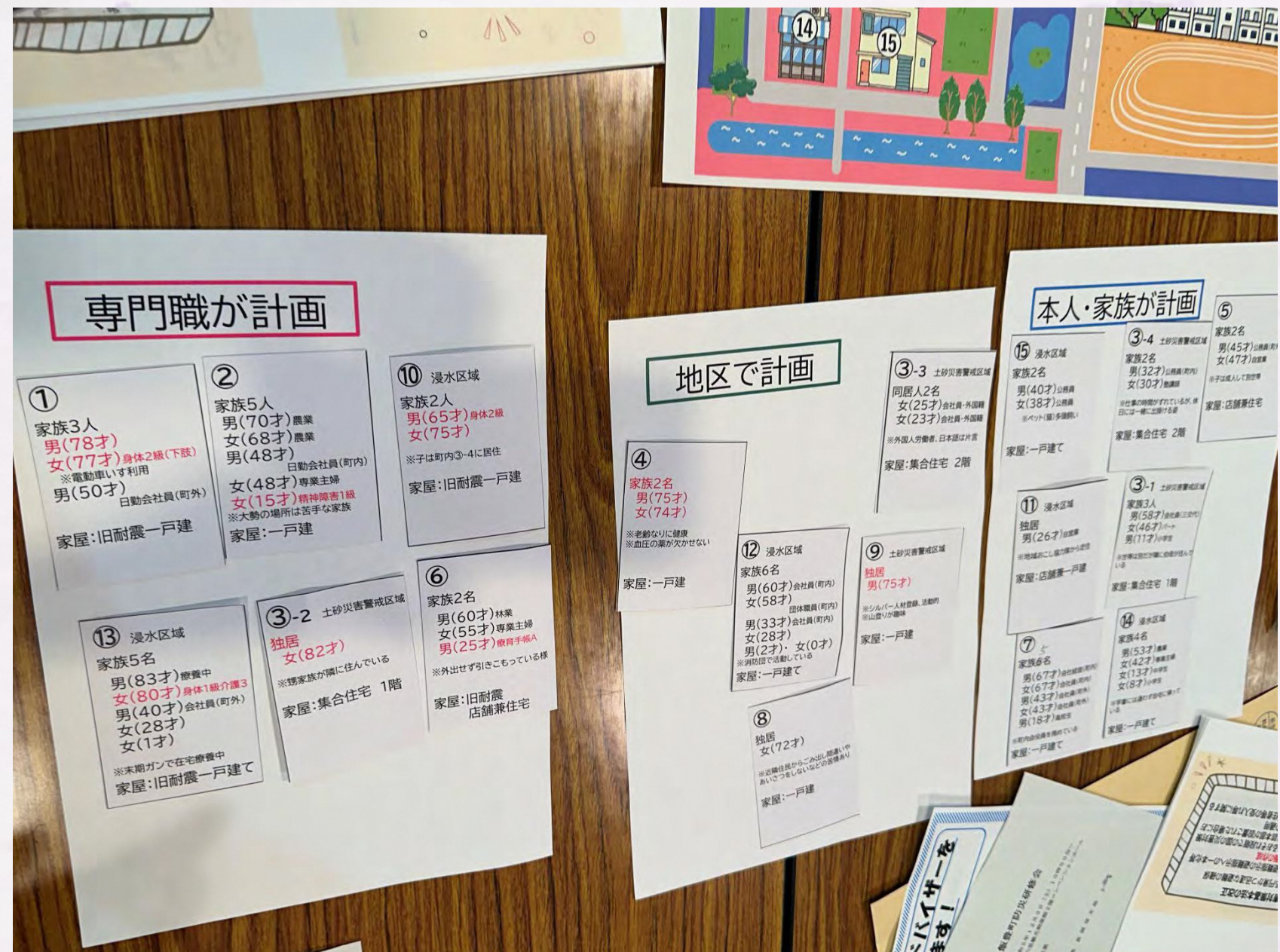
個別避難計画は誰の為の計画か？

個々の見えている景色は“違う”

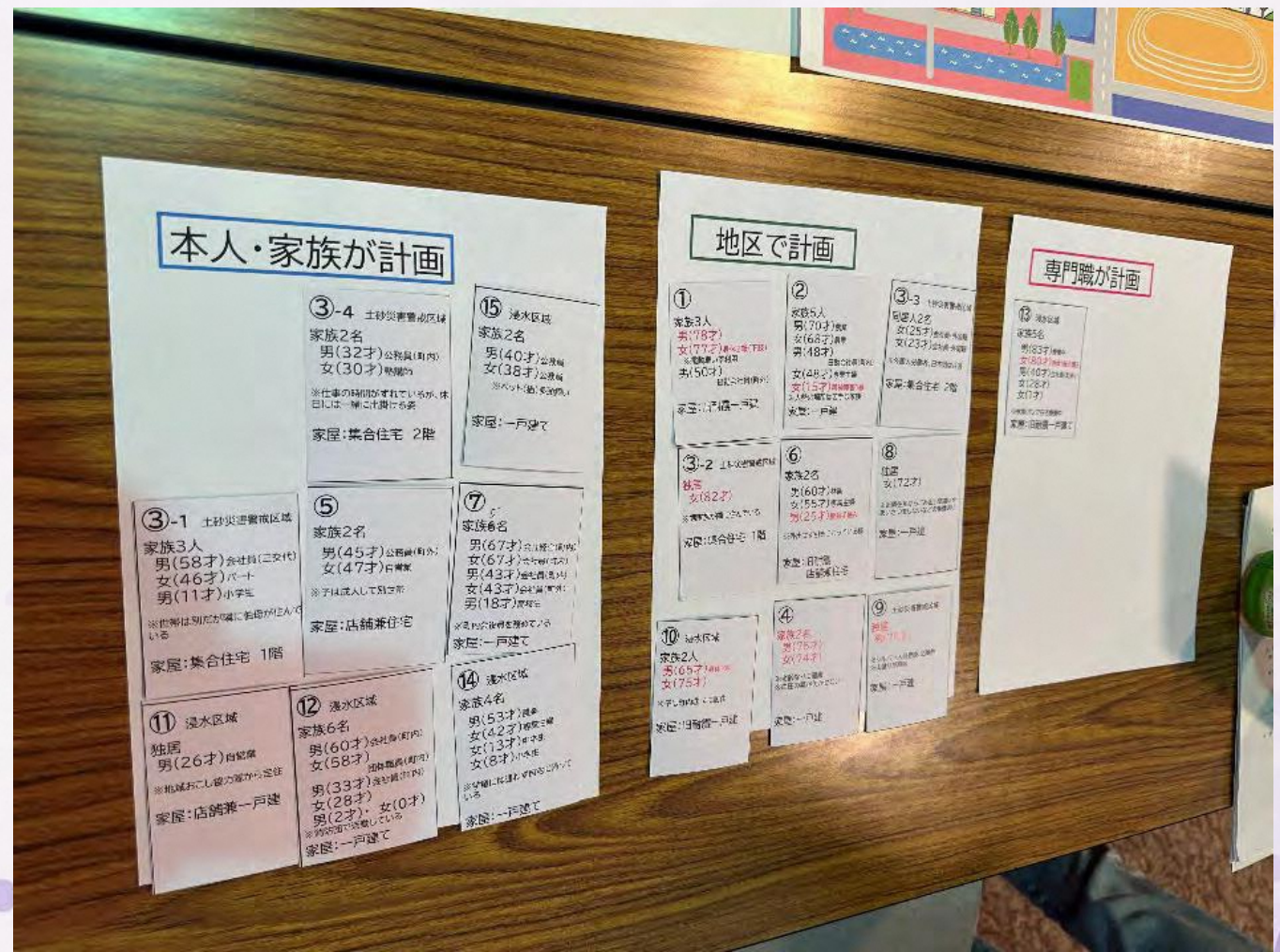
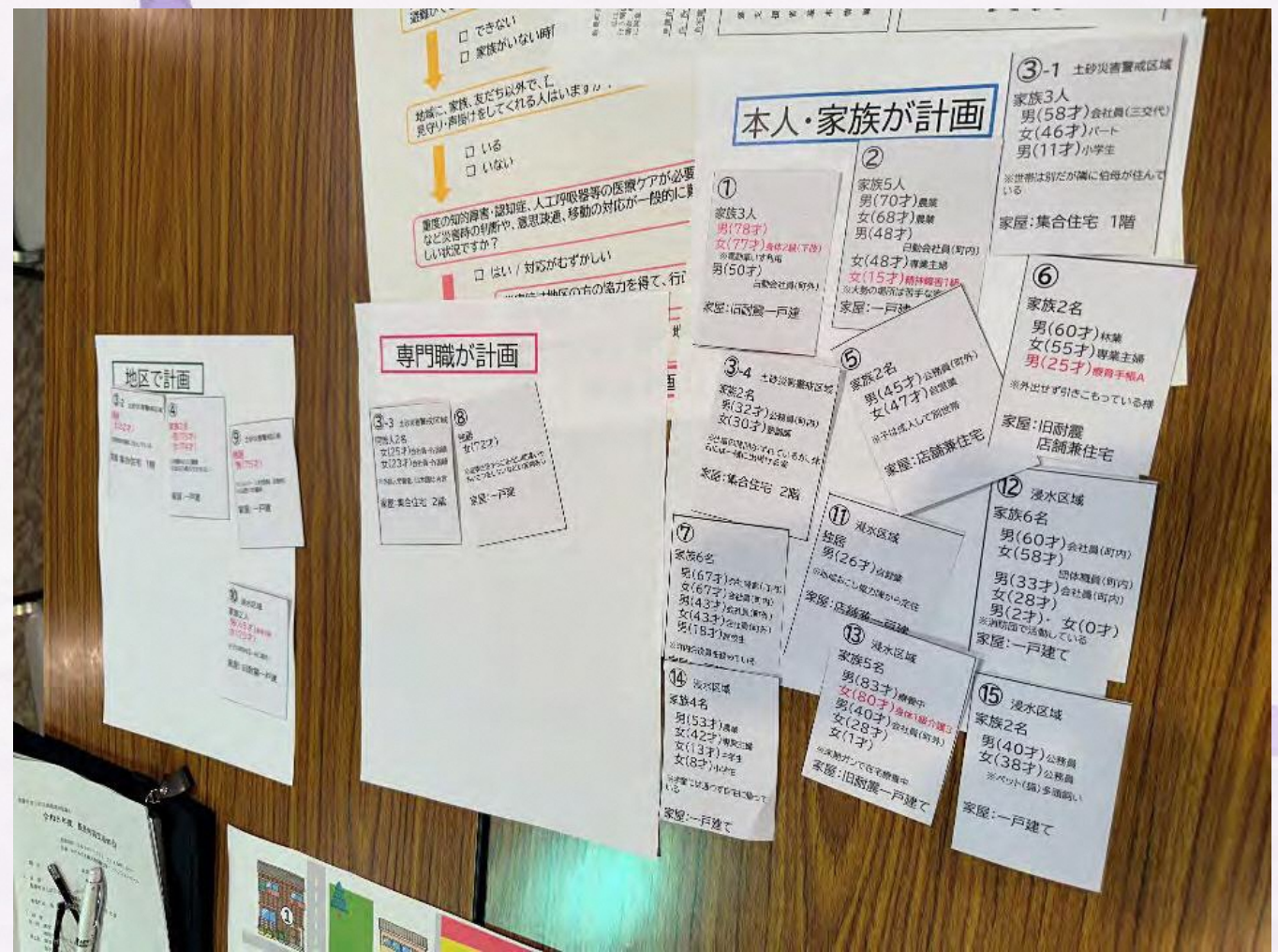
職員・地域の人材不足  
昼間人口流出・若者／生産年齢人口流出  
要支援者の増加  
制度の増加・複雑化(難解)



# 見える化する(計画の内容・行政の方針・要支援者)







# 主体者を増やす (要支援者の整理・分類分け)

## 個別避難計画分類フロー

自分や家族、近所の人と一緒に避難することを決めて避難ができますか？

- できない
- 家族がいない時間はできない

地域に、家族、友だち以外で、普段から気にかけてくれる人や見守り・声掛けをしてくれる人はいますか？

- いる
- いない

重度の知的障害・認知症、人工呼吸器等の医療ケアが必要など災害時の判断や、意思疎通、移動の対応が一般的に難しい状況ですか？

- はい / 対応がむずかしい

災害時は地区の方の協力を得て、行政や関係団体等が避難のお手伝いをします。

介護・福祉の専門スタッフや行政、地区の方々と一緒に計画づくりに取り組みましょう！

専門職が計画

できる

本人・家族が計画

災害時は自分や家族、近所の人と一緒に避難しましょう。

自分や家族、近所の人と相談して計画づくりに取り組みましょう。

地区で計画

災害時は地区の方の協力を得て一緒に避難しましょう。

地区の方と一緒に計画づくりに取り組みましょう。

- いいえ / 困難はない

本人・家族が計画

地区で計画

専門職が計画

⑬ 浸水区域

家族5名

男(83才)療養中

女(80才)身体1級介護3

男(40才)会社員(町外)

女(28才)

女(1才)

※末期ガンで在宅療養中

家屋:旧耐震一戸建て

# 災害時の関連計画(制度の捉え方)

対象者	避難行動 (呼びかけ・確認・誘導・同行避難)			災害発生！	安否確認 避難生活		復旧復興	
避難行動 要支援者 (福祉サービス利用者)	地区防災 計画	福祉 BCP	個別 避難計画 (受援 ・自立)		福祉 避難所	福祉 BCP	災害CM	災害CM
避難行動 要支援者 (福祉サービス無し)		個別 避難計画 (支援)	災害CM					
一般								
入所者 (福祉施設、グループ ホーム)	非常災害 対策計画	福祉 BCP	避難 確保計画		福祉 BCP			

被災者一人ひとりの被災状況や生活状況の課題等を個別の相談等により(発見して)把握した上で、必要に応じ専門的な能力をもつ関係者と連携しながら、当該課題等の解消に向けて継続的に支援することにより、被災者の自立・生活再建が進むようマネジメントする取組

(出典「災害ケースマネジメント実施の手引き」内閣府、令和5年3月)



# 日常の生活相談との違い

- **災害時特有**の困難(モノ不足、避難生活の困難、多重な課題、不安感、喪失感、孤立感)
- ニーズ**変化のスピード感**
- 支援制度の複雑さと不足感(**心身の支援**)
- **コミュニティ弱体化、分断**
- 平時の課題、困難の**劇的加速・増大**